

早稻田應用化學會報
第15卷第2冊第35號別冊

順 序

1. 教室消息
2. 先輩消息
 - a. 青鈴會
 - b. ルツボ會
 - c. 一一會
3. 學生消息
 - a. 三年生ヨリ
 - b. 二年生ヨリ
 - c. 一年生ヨリ



新ニ學位ヲ得ラレタ山本先生



昭和十三年二月八日第五十二回例会ニ於ケル武富先生ノ講演

教室消息

小林先生は相變らず御達者で若い者等舌を捲く位です。小栗先生も諸務御多忙で寸暇もない御様子ですが御元氣なのは何よりです。秋山先生は前號掲載の通り滿鮮地方御旅行の予定でしたが三月初旬より盲腸炎にて入院せられ御旅行は取止められ今尚御自宅にて静養中ですが近い中に御元氣な登校姿が見られる事でしょう。帝大龜山先生の所で御研究の村井先生(舊姓日野西)は今度助教授になられ再び母校に歸られました。又秋山先生の所でアルミナの研究に従事して居られた鹿島次郎氏は今度應用金屬學科創設と共に同科の助教授となられました。以上の如く當應化が老ひも若きも内に外に益々發展して行く事は喜ばしい限りです。(編輯)

卒業生各位への謝辭 山本 研一

不肖、今回、諸先生、諸先輩の永年の御教示、激勵の御蔭を以て漸く學位を授與せられるに至りました。之に對し卒業生各位より早速、祝電、祝賀の御手紙等を多數寄せられ、衷心より感激致して居る次第であります。御芳書に對し御禮の返書を差し上げなかつた御方に對し其御芳志を此處に厚く御禮申上ぐる次第で御座います。不肖、素より淺學菲才、加ふるに生來のツボラ性の爲め、今日に及び、顧みて内心甚だ忸怩たるものがあります。唯今後は各位の御鞭撻に依り更に一層の拍車をかけて研究にも精進し、我教室の爲めにも盡力したいものと考へて居ります。何卒今後共一段の御援助の程を御願ひ致す次第であります。

青 鈴 會 (第2回卒業生)

去る2月中旬伏木の清水悌君久し振りに上京せられ筆者並に原君と一夕會食して別れた。清水君には昨秋伏木訪問の際種々御世話になつた。相變らず昔の通り元氣であるが唯大分、頭髮も白くなられた様だ。

水野君も3月下旬、一寸上京せられ筆者と一夕談して退京せられ、九州の阪田君、廣瀬君、大阪の荒木君の消息を聞かされた。阪田君も3月中に一寸上京せられ、學校で1時間許り話して別れた。地方の諸君の上京の折には有志の者で集る事になつて居るが、突然の上京と、最近少し會が多過ぎるので、集るのを遠慮した次第で、在京の諸君にはお許しを願ひ度い。

次に今度筆者が學位を得たのに對し同級生一同よ

り擧つて、結構な記念品を贈り下され、且在京の諸君には御多忙中3月24日赤阪幸樂に於て祝賀會を催し下され、筆者衷心より感激感謝して居る次第であります。今後愈々研究の方に精進し又母校の爲めに盡くす事を念願して居ります。何卒今後共一層の御援助の程を御願ひ申上ます。(13. 4. 20. 山本誌)

ル ツ ボ 會 (第9回)

此の處餘り種がないと云ふ理由から何時も本欄への投稿を怠けて申譯ない。去る3月12日上野でクラス會を開催した。藤好君が3月下旬から滿洲へ行くのでその前に集らうといふ譯だつたが集つたのは藤好・宮本・國崎・宇野の4名、在京者の50%といふ。近來稀な貧弱振り、藤好君には申譯ないが、尾藤・秋山兩君は病氣、其他は夫々多忙の爲といふことである。御容赦を乞ふ。最近のニウス2~3御報告しよう。秋山君は3月初めから約1ヶ月盲腸炎で入院目下自宅で静養中、5月初めからは學校へも出られる由、尾藤君は茲1年ばかり病氣で工業大學へも時々行く程度とか、何んとか早く元氣を取戻して欲しいものだ。御自愛を祈る。藤好君は3月下旬滿洲へ出張した。今年中は新京其他の仕事の爲滞するさうだ。時々阿部君にも會へるだらうと楽しんで出掛けたが處で阿部君一體どうした? 滿洲風でも時には吹かしに來たらどうだ、御目度い話も噂に聞くが結果如何。其他の諸君の近況を餘り知らないが夫々大いに活躍の事と思ふ。御健闘を祈る。

(13. 4. 25. U生)

一 一 會

會員中軍務に服されて居る諸君の武運長久と御健康を祈る。

出雲君 出征せられてから大分立ちますが病院にて脱腸を切られて其後經過良好にて〇〇方面に出られたとか以後消息不明誰か知つて居たら御一報下さい。

米津君 會員中一番に出征された同君は益々北支に奮闘されて居ます。

比良野君 應召されてから消息不明ですが大いに働かれて居ると思ひます。

藤崎君 北支より大分度胸も付いた諸先生や諸君に宜敷くと言つて來ました。

舟橋君 引續き臨時召集として哈爾濱野口部隊津田隊に勤務して居ます

平山君 岐阜の飛行聯隊に勤務

芦野君、桑原君、町田君は四ツ街道の野戦砲兵學校に在營中。

本間君 も在營中大いに頑張つて居られるでしやう。

さて銃後の諸君は！

磯野君 最近一寸も上京しないがロータリアンとして發長の事と思ふ。

呂君 最近御父さんになられるとの事同君に取り益々仕事の拍車となる事と思ひます。

豊田君 其後一向に消息が無いのですが心臓に信頼して吾々は安心出来ると思ひます。

岡久君 相變らず仕事と取組んで居られると思ふ此度の仕事には骨がありますか。

川崎君 公私共に御多忙の様にて小生の會社に社用で時々元氣な顔を見せて下さいます。

吉井君 ハネームーンからホームスケートホームへと吾々一同の羨望の的で多幸なる未來を祈つて居ります。

高木君 時節柄石炭液化に關係ある同君はさぞ御多忙の事と思ひますが偶には誰かの所へ便りを下さい。

武井君 同君の先生振は近頃板に付いて來ましたよ工業化學會の講演も諸君に聞かせたかつた程です。

大原君 最近^ア典子嬢の御父さんになられました同君より諸君に誤解の無い様に傳へて下されとの事でした。

浮舟君 音信不通ですが同君の事故心配は無いと思つて居ります。

内海君 チタン工業の字部に轉勤せられ唯一の経験ある技師として大いに働かれて居りますが只東京で育つた彼には町が愁しい様ですが其中に町より家の中の方が良くなる時が近いのでは無いかと推察して居ます。

久我君 昨年は靴を三足を一度に注文出來た彼本年も相變らずだとお察します。其他の事も目に見える様な氣がします。

山口君 御役人生活を樂んで近頃御母君と芝居などへ行かれる様です。

山田君 もう體も良くなれば元氣で居られると思ひます。

山本君 時節柄人造石油の方で御多忙の事として近頃あまり御顔を見ませんが元氣の事と思ひます。

松島君 近頃寫眞に凝つて居ます、先日工業化學會に元氣な顔を見せました。

鎮目君 工業化學會に出て來られた時川崎・山口・武井・呂君等と小生と集まりレインボーグリルにて軽い夕食を食べながら色々の話をしました。同君は益々あらゆる方面に發展せられ吾々一同感心しました。

廣瀬君 時節柄中央試験所も御多忙と思ひますが學生時代の時の様に偶にはシツポを出して下さい。

尙最後に一一會として米津君・藤崎君・舟橋君に慰問品を御送りしました。又谷岡君に御祝を送りましたから御承知下さい。會費を納めるのを御忘れの方は是非御送り下さる事を紙面をかりて切望します。此度は關西の方々の分まで僭越に書きましたが日時の無かつた事として御赦下さい。(田中)

三年生のこのごろ

二年と云へば長い様で短く、短い様で長い。吾々は今や三年と云ふ最後の階段に立つたのである。

はるか下を見おろせば、高い高い、よくまあこんな所まで夢中になつてかけ上つて來たものだとしばし感慨無量の體である。と見よ！ 其の階段なりしと思ひしはそはエスカレーターではなかりしか！ あゝ！ と云ふ様なナンセンス劇の中に吾々は三年生と云ふ一等偉い學生になれたのであります。

しからばその三年生が今なにをして居るか？

吾々は今三階なる實驗室に於いて製造實驗なるものをやつて居ります(この實驗なるものは一年二年と次第にやさしくなる傾向を有するものである様ですが) こんな事を云ふと宇野先生などから「誰のお陰だ」なんてどやされるかも知れませんがね。

とにかく一度皆さんの實驗振りを見て頂きたいのです。

スマートとまでは行きませんがね、その悪く洗練された手付き、其の板についた研究振り、これぞ正に吾が應化のいみじくも誇るべき三年生なるよ！ とまことに頼もしき限りであります。

こんなのがもう少し経つと道かなんかで出會ひ「一オつき會へよ」「いや家内が待つてゐるんでねー」なんとか言つて行つちまふにくらしき人間となるのであるかと思ふと其のすました横顔にクロコンでも引つけてやりたくなるのも豈我のみにあらんや。

とにかく張り切つたものでありまして「まあ十年後のおれを見てくれ」なんて鼻の穴をデツカクしてゐるものもあれば中には自信に満ち溢れたか、パテントなるものを目ざしてひそかに金儲けの研究をや

つてゐる輩もあるかと思ふと、あまり勉強に張り切りすぎて脳擴張を起したのものもある様です。又中にはそろそろ未來の良きパートナーを探して居らるゝ方もあるやに聞き及ぶ次第でございまして又現にこれをイミテートしてゐるサムライもあるとのこと。

げにすさまじき限りで「吾々は脳をあまりに働かし過ぎる故に一つバツク臺（ボートのですぞ）でも買つて大に體育に志さねばならない」なんて恐い事を言ふ運動部のオモチヤが居られるし又「痺（麻雀）を握らないとどうも夜の寝つきが悪い」なんて云ふ奇怪な人種も居ります。

この前の學生刈りの時にやられたとかやられなかつたとか云ふ花形がたしか居るはずでありますし……と云ふと皆さんいかにもものんびりして居る様であります。さにあらずさにあらず勉強となると凄いものでありまして人の見て居ない所でこつこつやつておゐでにられる。まことに恐ろしき限りではある。

世の中に“多才才々”なる言葉がありますが、これこそ吾が應化三年生の爲に作られたものではないかと思はれるのであります。かくの如く我々の心臓は（月並な言ひ方ではありますが）強壯なるものでありましてこの心臓より發する所のスピリットこそ何ものをも壓倒するだけの力と自信を有するものであり、この力と自信こそ吾が日本の工業界をリードして行く原動力となるのである事は吾人等のすべてが信じて疑はないのであります。

さて吾等は三年生になつた。もうあと一年でこの應化の校舎とも別れなくてはならないと思ふと、無性に勉強したくなる反面において又大いに遊びたくなると言つた風な妙な氣持で居るのであります。

併しながら何と云ふ明朗さと若々しき元氣に満ちあふれた今日此頃の教室内よ！ 吾々の教室程何と云はうか……うらゝかな春の日を思はせる様なごやかな氣分の横溢したる所は他に類がないのではないか？ 實に住み心地が良いのである。出来ればあと二三年……（こら馬鹿を云ふな）とにかくあと一年と思ふと一種の悲に似たるものを感じるのであります。

まつたく吾が應化は住み心地が良いのである。嗚乎！（H生記）

二 年 消 息

櫻の花も散り去り、春の趣も次第に新緑に變りつゝある時、我々二年生全員元氣に通學、實驗を始め

てゐる。實驗室も二階、一階だけ格が上つた譯です。二年生は潑刺として、登校。いよいよ運動シーズンに入らんとしてゐます。野球に、庭球に、其の他各自思ひ思ひの運動に活躍せんと準備中です。五月になれば、理工學部野球大會、帝大應用化學科對抗試合等、益々吾々ははりきつております。

次に二年生中よりの投書を掲げますから、御推察をお願い致します。

○ 青湯生日記の一端を取りて寄稿す

四月十八日 月曜 快晴

學校始まりて第二日。ルーマにて四人集る。

スキー焼した安倍氏、休み中つまらなづくめだつた相だけど、「健康を得たのが何より」と。

ボタ君、スキー歸りの汽車で知り合つたメッヂェンから「お葉書」が來たとて見せてくれた。紅茶一杯は勿論だつたが格別甘味い。

オモチヤは一人で特製紅茶（ウイスキーの入つた……）を感じた様に驚つてゐた。僕は嬉しかつた。

かへり路、安倍氏小生を評して「嬉しさが通り越してポーとしてゐるんだからなあ。」事實かも知れないが、兎も角、僕の體の内は今潑刺としてゐる。

一年生歡迎の野球試合は何日かなア。

應用化學それ自身が、最も嚴格な意味に於て、素晴らしい藝術であることを認めてゐる二年生の一人だ！（N・I生）

○ 所謂世間的な言葉で云へば、中學の初級時代既に虚無的思想を懷き、學院に入つてより人格完成説を奉じ、現今亦々之を擲ち人間の生活が共同生活を基定として居るといふ事に重大な意義を見出した自分は、現在積極的な生を求めて彷徨し、若さといふものを自身に痛切に渴望しつゝある。（H生）

○ 寫眞は現今の流行物だ。街に出て見給へ、猫も杓子も肩から物々しい鞆をぶら下げて颯爽と闊歩してゐるだらう。此の際二年に於ける寫眞愛好者を僕のベス單で紹介するのは面白いと思ふ。安カメラの情けなさ、描寫の悪い點はレンズに免じて載く事にする。

クラスの大御所は何と言つても横山君で早大寫眞部として活躍された経歴は他の連中が遠く及ばぬ所、次で下手乍らも展覽會等に出品したりする強心組をBクラスとする小坂・寺西・御所・大津の諸君が之に入る。寫眞は仲々寫すらしいが、餘り人前に出さぬ諸君は非常に多い。之が應化の美風かしらぬが、小沼・大山・田村・横田・安倍・木下・澤村・

三野・芦澤君等で、就中大山君の天然色寫眞、特殊印畫法の研究と横田君のスナップは有名。反對にはローライやスーパーセミ等を持ち乍らカメラを泣かせてゐる様な人も居るらしい。此等の諸君の外に一寸目立ぬ愛好者に長谷川・古屋・渡井・桂・京都君等が居るがベス單は之等の作品に一枚も觸れていないのは残念だ。(ベス單)

○ 良き個性を生かそう!! 春だ遊べ! だが學生の本分を忘れるな。(N・K生)

一 年 消 息

清新明朗の四月、憧れの學部應用化學科に入學を許され感激を新にして居ります。

時偶日支事變下にあり赫々たる皇軍戰捷の陰に輝

く科學日本の偉大さ、日々伸展し行く邦家工業界の將來を擔ふ吾等の使命はいよいよ重且つ大となつてまいりました。

二十日大隈講堂にて入學式も嚴肅に行なはれましたが、未だ日も淺く萬事に何となく板に付かぬ感も致します。吾がクラスは全員三十八名にして、その中、工業經營科が四名、他の高等學校より入學したものが二名居ります。委員は市川君が引續いて務めて下さることになりました。今後は同君を中心にして研學にいそしみ、クラスの團結親睦を計つてゆきたいと思ひます。又研究・スポーツ等を通じて先輩諸兄の御指導も仰ぎ、傳統に輝く早大應用化學科の名聲を高揚せんことをこの時にあたり切に心に期して居る次第であります。(Y・T生)

